

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.153

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選。1期務める。小説『33年後のなんとなく、クリスタル』を11月半ばに河出書房新社から上梓。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>

イエナ洋書店は晴海通り沿いの銀座5丁目、近藤書店の3階に位置していました。1950年昭和25年創業。その前身は独逸の光学機器を扱っており、天体望遠鏡や顕微鏡で知られるカール・ツァイスの創業地イエーナに店名は由来します。因みにFCカール・ツァイス・イエーナは同社が創設したクラブです。

無国籍企業アマゾンが日本版サイトを立ち上げてから15ヶ月後の2002年1月に店仕舞。程なく近藤書店も閉店し、跡地は現在、

デイオール銀座店。そのイエナは服飾、写真、広告、料理、文学等の著名人が足を運ぶ「梁山泊」でした。僕もイエナを通じて何種類もの洋雑誌を定期購読し、米国製の犬の日捲りカレンダーと巡り会ったのもイエナです。

「Page-a-Day Calendar」と銘打ってWokman社が、今では日本でも一般的な卓上日捲りを最初に販売したのは1979年。

芸術的な装飾ケーキで “親馬鹿”満喫！ 愛娘の誕生日

今週の逸品



ロッタ誕生日ケーキ 銀座ピエスモンテの特注

トイプードルのロッタは“人情味と正義感の街”尼崎中央商店街のペットスタイルで邂逅。僕が国会議員時代は温度調節されたバルク・カーゴ室に預けられて幾度となく伊丹一羽田を移動の“ジェット族”。’33年

後のなんとなく、クリスタル」でも冒頭を始め幾度か登場。ピエスモンテHPには特注ケーキの作品例が。ピエスモンテは連載114回でも紹介。上記HPに掲載。ロッタの相續と骨の部分は今も冷蔵庫で保存中。

【銀座ピエスモンテ】東京都中央区銀座9-6-22 ピアースビル1F ☎03-3574-0960
営12:00~24:00(土のみ~20:00) 日祭定休 <http://www.piecemontee.co.jp/>

illustration by Hajime Anzai



es Mini Day-to-Day」は子犬ばかりの小型サイズで洗面所向き。安眠中の子犬を特集のSeries社「Popped Puppies」も流通は限られますが得難き存在の日捲り。何れも現在はアマゾンで購入です。

我が家の愛娘ロッタが生誕4周年を迎えた9月29日、六本木通りを挟んでARKヒルズ真向かいの連載68回目に登場「カンテイヤアリ・バブ」で、彼女の誕生日祝をしました。犬も一緒に店内で過ごせる、真つ当なフランスの日常食を味わえる逸軒。

今回は並木通り沿いの銀座8丁目に位置する銀座ピエスモンテの特注ケーキを持ち込んで、ロッタと妻の「3人」で最後に賞味。嘗て銀座6丁目に存在したエルドールで研鑽を積んだ下村信司氏が営む、宝飾品とも呼ぶべき小さな断片の積み重ね「ピエス・モンテ」飾り菓子(600円)の数々が

シヨウウィンドウに並び、こちらも得難き逸軒。